



やらまいか

クラブテーマ：リラックス・ロータリー ～親睦と奉仕、肩の力を抜いて～

会長／樺山修一 幹事／細井勉 会報委員会／大仁孝泰・鈴木卓也 例会／毎週火曜日 12：30 豊川商工会議所
事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP：<http://toyokawahoi.tank.jp/>

本年度第15回 通算1694回 2022年11月1日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	10/14 修正出席率
		72名	41名	63.1%	64.1%

ゲスト：地区ロータリー財団委員会 副委員長 久具信夫さん（豊川） ビジター：（なし）

★会長あいさつ

樺山修一 会長



11月に入り朝晩はだいぶ肌寒くなってきましたが、1年の中では春と同じく気候も良く、過ごしやすいためスポーツや読書、食欲、芸術などをして過ごすにはよい季節になりました。最近の私の場合はYouTubeを観てそれらをやった気になっています。

先々週はガバナー公式訪問、先週は豊川RCとの合同例会、合同ゴルフコンペ、そして新入会員研修パートⅢとお疲れさまでした。

ガバナーとの会長幹事懇談会では、6年前、高桑パスト会長がガバナー補佐をされた時の東三河分区分IMの講師として笠橋ガバナーがお見えになり、公共イメージと危機管理についてお話を頂いたことのお礼を申し上げ、当クラブの現状、R財団の補助金事業の説明をさせていただきました。ガバナーからはこの地域は南海トラフ地震等で最も災害の起こる確率が高いのだが、実際には九州とか静岡で災害が起きており、幸いこの地域では災害が起きていない状態が続いているので、防災に対する備えをすることを忘れがちになっている。自分も翻訳機が欲しいぐらいの良い事業だとお褒めを頂きました。

MyRotary については同席の蒲郡RCがまだ登録が進んでいない状況でしたので、時間をかけてMyRotaryの使い方の例等を交えて登録のお願いをさせていただきました。我がクラブは50%以上の登録をしているので特にありませんでしたが、私の方から

MyRotaryは反応が遅いので、ストレスなく閲覧できるようになると嬉しいと要望しておきました。

もう一つ、我がクラブは地区委員会への出向者がいないので地区との距離感を感じる。過去に遡っても私の知る限り3名しかいませんとガバナーに申し上げたところ、「故度会氏とはかつて国際奉仕委員会で一緒に海外に行ったことがある。」とおっしゃっていました。そして「会員数が30名のクラブでも2名の出向者を出しているところもあるのに、70名以上のクラブで0名ではいけないので、出向希望を頂ければ優先に採用するように働きかける。」とおっしゃってくれました。

親クラブの豊川RCは毎年5名程度の出向者を輩出しています。本日の卓話講師の久具副委員長もR財団委員会へ出向されていますので、地区や委員会の情報をいち早く取り入れ、クラブから地区補助金の申請もスムーズに行えるなど、クラブにもご本人にもメリットがあることだと思います。久具副委員長には地区委員会へ出向されて良かった点を卓話の中でお話いただければありがたいです。特に若いメンバーの中で地区委員会に出向してみようと思われる方はお申し出ください。

★幹事報告

細井 勉 幹事

例会臨時変更のお知らせ

★委員会報告

雑誌広報委員会 度会秀子委員長
ロータリーの友11月号の紹介
親睦活動委員会 井指和昭委員長
秋の行楽について

★ロータリー財団委員会担当例会

委員長挨拶

中西弘徳委員長



今月はロータリー財団月間となっております。例会終了後に会員の皆様方に寄付金の納付書を送付します。会員の皆様のご協力を宜しく

お願いします。

本日は、地区ロータリー財団委員会の久具副委員長をお招きして卓話をして頂きます。宜しくお願いします。

卓話「ロータリー財団を活用しよう」

地区R財団 久具信夫副委員長



2760 地区ロータリー財団委員会の久具信夫です。

本日は、ロータリー財団月間にあたり、ロータリー財団へのご理解を深めていただけるよう卓話をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。皆さまからの大切なご寄付がどのように使用されているかを、説明いたします。

まず、ロータリー財団とは、1917年6月18日、ヨーロッパで戦火が荒れ狂うころ、米国ジョージア州アトランタで開かれた第8回ロータリー年次大会で、当時の会長アーチ・クランプは「世界で良いことをするための基金を作るのが、極めて適切であると思われる」と、自身の構想を発表しました。その1ヶ月後に寄せられた、26ドル50セントの寄付で始まった基金は、1928年、「ロータリー財団」と改称され、今日に続いています。ロータリー財団のその使命はロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解・親善・平和を達成できるようにすることで、その役割は、ロータリークラブ及び地区を通じて実施される、承認された人道的及び教育的活動支援のために寄付を受け付け、資金を分配するのが、ロータリー財団の役割です。

国際ロータリーが人間の「カラダ」としたら、ロータリー財団は「血液」です。「血液」が無ければ、

「カラダ」は動きません。国際ロータリーは皆さまの会費で運営をしていますが、ロータリー財団は、ロータリアン皆さまからの寄付で運営・活動をしています。

昨年度2021-22年度貴クラブより年次基金おひとり122\$ ポリオプラスおひとり32.61\$ 恒久基金0.00\$ 多大なるご寄付ありがとうございました。本年度2022-23年度2760地区のロータリー財団寄付の目標は、年次基金おひとり150\$以上ポリオプラスおひとり30\$以上です。恒久基金、クラブでベネファクター1名または、1000\$以上です。

2021-22年度は、恒久基金に寄付されたクラブは42クラブありました。

大口寄付者は9名、ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)は、現在22名のメンバーがいらっしゃいます。このような実績から、昨年度は地区目標額を上回りました。

「大口寄付」とは、一括10,000ドル以上を寄付される方です。寄付分類は問いません。

「ポール・ハリス・ソサエティ」とは、毎年1,000ドル以上を、年次基金またはポリオプラス基金に寄付することを約束された方を認証するためのプログラムです。

ロータリー日本財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。法人からの寄付も同様です。個人向けの領収書は半年ごとにクラブへ発送されていますので、受け取られましたらしっかり保管してください。詳しくは、「寄付・認証の手引き2022-23年度版」をご覧ください。財団室NEWS8月号に、ダウンロード用URLが掲載されています。

続きまして、皆さんから集めた寄付が、どのように使われているのかを表したグラフです。

グローバル補助金事業は、年々実施件数が増えており、2020-21年度は2,066件が承認されました。チャリティーナビゲーターは世界の奉仕団体を調査している組織ですが、ロータリー財団は、14年以上、最高位の4つ星を獲得しています。このように第三者機関にも認められています。ロータリー財団の情報は、財団室NEWSを是非お読み下さい。毎月DCSでクラブにお届けしていますので、事務局員さんから皆さまに転送されていることと思います。また、地区のホームページからもダウンロードできます。いろいろな情報が掲載されています。特に、ポリオの発症数については毎月掲載されていますので、会長挨拶の時などにお話していただければ幸いです。地区の財団委員会のプログラムを順に説明致します。

ポリオ根絶は、ロータリーの最優先項目で、世界の子どもたちへのロータリーの約束です。

特に感染しやすいのは5歳未満の子どもで、治療法はないですが、ワクチンで予防が可能です。6月に、ロンドンの下水からポリオウイルスが検出され、ロンドンに居住する1歳から9歳までのすべての小児を対象に、ポリオワクチンの緊急追加接種を実施することが発表されました。また、ニューヨークでも下水からポリオウイルスが検出され、7月には、アメリカでは約10年ぶりにポリオの感染者1名が確認されました。とにかく、世界にひとりでも発症者がいたら、毎年4億人の新生児にワクチンを打ち続けなければなりません。

パキスタンで感染者が増えている理由ですが、不十分なインフラと文化的障壁、辺縁の地域までなかなかワクチンが届いていない、パキスタンのタリバンがワクチンを推奨していない、個別訪問するポリオ接種チームが政府のスパイと思われているそうです。そのため、医療従事者の身にも危険が及ぶ可能性があり、WHOは、医療従事者の身の安全を最重要としているので、ワクチン接種がうまく進んでいないようです。

皆様お住まいの町の新生児数は何人いらっしゃいますか？ポリオが根絶されれば、ポリオワクチンをそもそも打たなくてよくなれば、その町の財政負担の軽減にもつながると思います。

また、10月24日に世界ポリオデーとして、全世界でポリオ撲滅のイベントを行いました。2760地区では10月25日に南山カントリークラブにて、チャリティーゴルフコンペを行いました。また、2023年4月15日（土）、16日（日）にはワールドフードふれ愛フェスタ（WF F）が行われます。ここで集めたお金で、移動図書館をパキスタンに寄付をしています。

続きまして教育への支援という事で、平和フェロシップとグローバル補助金奨学生のご説明です。まず、平和フェローですが、世界8つの大学と提携している「ロータリー平和センター」では、世界平和と紛争予防の担い手を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。世界中の多くの応募者の中から、毎年、最高130名が平和構築のために勉強しています。修士号取得プログラムでは3年以上、専門能力開発修了証プログラムでは5年以上の実務経験が必要です。当地区からは、しばらく奨学生を送り出していないので、候補者がいましたら推薦をお願いします。

地区補助金の活用のお願いです。地区補助金には、地区補助金とグローバル補助金の2種類がございます。今年度地区補助金は84クラブ中56クラブからご申請をいただきました。申請時に「地区とクラブの覚書」（MOU）を会長と会長エレクトが署名をした書類を提出していただきます。授与と受諾の条件には、事業に際して「やってはいけないこと」注意書きが記載されています。どちらも、しっかりと読みいただき、遵守していただかなければなりません。続いてシェアシステムの説明です。財団では、3年の資金サイクルを採択しております。年次基金を3年間資金として運用し、その運用益は財団の運営費に使われます。3年後、その元金の半額が地区財団活動資金（DDF）と言われるものです。そしてその半分が国際財団活動資金（WF）です。そしてさらにこの地区財団資金の半分が地区補助金として使う権利があるという事です。また、この半分がグローバル補助金として使われます。2つの補助金について具体的にご説明致します。地区補助金は、比較的小規模で短期間のプロジェクトを支援致します。地元や海外で今すぐ必要とされる支援に取り組む必要があります。今年度から各クラブの申請可能額を設定させて頂きました。クラブの3年前の拠出頂きました、年次基金寄付の総額25%を今年度使っていただけるように設定させて頂きました。2023-24年度の貴クラブの地区補助金申請可能額は2013\$です。お早目に2023-24年度の事業立案に取りかかって頂きます様、宜しくお願い致します。

これまでのルールと大きく変わり、明確になりました。25%はそれぞれのクラブが納めた年次基金寄付ですから、まずは、その補助金を活用して事業を構築してください。これまでとルールを変更し、クラブの拠出金はマストではなくなります。申請可能額のみでの事業が可能です。クラブ拠出金を上乗せすれば、さらにもっと大きな事業が可能です。地区補助金を積極的に申請して奉仕事業を行って下さい。

次に毎年補助金委員会で頭を悩ますテーマが継続事業と寄贈事業です。

継続事業についてですが、先程申し上げました、授与と受託の条件の制約事項に、特定の受益者に過度の支援をしてはいけないと書いてあります。今年度は委員会で議論を重ねた結果、内容が昨年と同じだけれども、受益者が違えばOK。また、受益者が同じでも内容が違えばOKとしております。申請可能額を設けさせて頂いた事で限られた条件の中、よりインパクトのある奉仕事業を構築して頂きたいと

いう思いから、ルール改正させて頂きました。続いて、寄贈事業です。地区補助金というのは、ロータリアンが汗を流して地域に貢献するという事を大きな目的として作られたシステムですので、ただ物を差し上げるだけでは地区補助金として認められないという風に考えています。ロータリーが積極的に参加する事が求められていますので、事業目的達成のために必要な資材・機材の整備が伴う事業はOKです。実際にリアルに何か物を運んだり、工事を手伝えることはもちろんですが、地域のニーズを調査したり、準備をするプロセスも含めています。

今年度の地区補助金事業を、コロナに負けずに実行してください。規模の縮小など、変更点がある場合はご相談ください。また、今年度の地区補助金事業を、地区公共イメージ向上委員会に伝えるとともに、HPやSNSで広報してください。

グローバル補助金事業です。グローバル補助金事業は、長期的で持続可能な影響をもたらす事業、予算30,000\$以上、海外のクラブと協力、地元地域の人々が特定した重要なニーズに取り組む事です。この「持続性をいかに担保するか」ということが重要なポイントです。加えて、「ロータリー重点分野の少なくとも一つに一致する活動を含む」プロジェクトでなければなりません。皆様すでにご存知かと思いますが、2021年7月より重点分野に『環境』が加わり”7分野”となりました。これまで日本は、主に「援助国」側でしたが、『環境』については、日本も「実施国」となり得る分野だと思えます。今年度から、当地区のDDF配分ルールが変わりました。変更前は、クラブは1円も出さずに申請することができましたが、今年度からは、クラブ拠出金が必要です。そのため、理事会に諮る必要が出てきます。地区補助金の申請には期限がありますが、グローバル補助金はいつでも申請ができます。ただし、必ず事前に「RID2760 地区財団活動資金申請書」を提出してください。書式は、地区補助金の申請書と同様に、地区のホームページよりダウンロードできます。

職業研修チームです。Vocational Training Teamの略でVTTと呼ばれます。専門家チームを海外に派遣して研修を行う。または、専門家チームを国内に招聘して研修を行うプログラムです。

続きまして、グローバル補助金奨学生です。以前はどのような分野でも奨学金を申請することができましたが、未来の夢計画導入によって、ロータリーの重点分野に限定されました。グローバル補助金奨学金の申請には、実務経験は不要です。こちらも候

補者がいましたら、推薦をお願いします。奨学金の申請については、締め切りがあります。今年度の募集は締め切りしました。次の応募期間は2023年7月1日から10月31日で、2024年秋入学以降の方が対象となります。

最後に財団の資金の説明です。財団は皆様のご寄付で成り立っていると申し上げましたが、寄付の分類には、年次基金、ロータリー災害救援基金、ポリオプラス、恒久基金、その他基金があります。詳しくは、「寄付・認証の手引き 2022-23年度版」をご覧ください。

ロータリーカードの紹介をさせていただきます。ご覧の種類があり、いずれも、カードの種類に応じて、利用額の0.3%または0.5%等が自動的にポリオ根絶の支援金となります。本日は、とくに、右側に書いてあるダイナースクラブのクラブカードにご案内させていただきます。今年度は、クラブカードの他に、地区補助金事業用として、ネット等での支払いに利用できる「地区補助金専用口座に紐づけしたカードを作成してください」とお願いしています。とくに使用されているのが、「例会費」、「人頭分担金」、「財団寄付」の支払いです。これだけでも、結構な金額になると思います。

最後にロータリー財団を是非ご活用ください。そして、財団に寄付したものがどのように使われているかご理解頂き、おひとり150\$ポリオプラス30\$にご寄付頂きます様、何卒、宜しくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

久具信夫様	本日卓話をさせていただきます
中西弘徳会員	本日の例会を担当します。
樺山修一会長	久具さんの来訪を歓迎して
細井 勉幹事	〃
小田伊佐浩会員	〃
鳥居信行様	地価公示価格表を配布させていただきます
水野太一会員	誕生日を祝って頂き
柴田浩志会員	〃
坂口幹夫会員	〃
半田富男会員	誕生日、その他色々祝って頂き
梅田喜嗣会員	〃
度会秀子会員	創業を祝って頂き
林 博宣会員	
高桑 耐会員	創業と入会を祝って頂き
伊藤正幸会員	所用にて途中退席します

会報担当：大仁孝泰・鈴木卓也